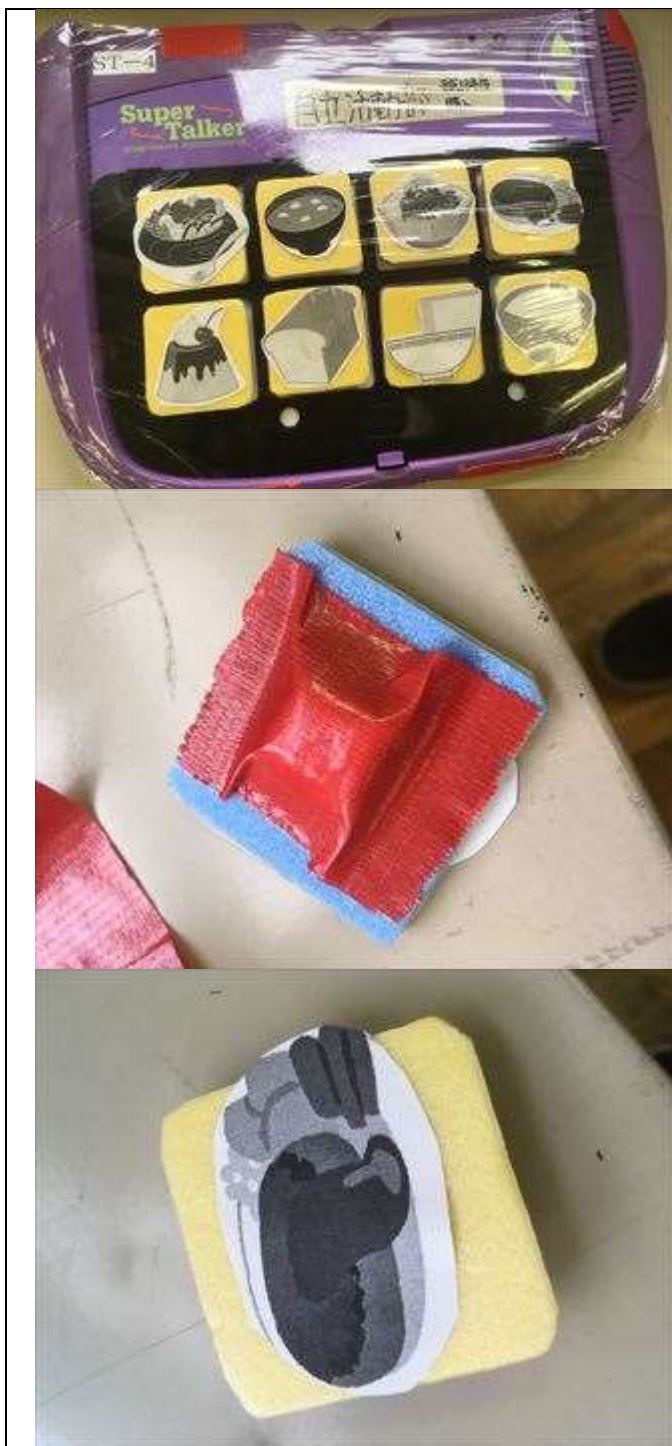


第18回自作教材教具展 on グループウェア

第18回自作教材教具展（平成29年1月30日（月）から2月10日（金））が、グループウェア上で行われましたので紹介します。



スーパーカー専用 押しボタン

スーパーカーのボタンを押しやすくするためにボタンを作りました。スーパーカーは真ん中を押さないと反応しないので、ボタンの裏にスポンジたわしの硬い部分を貼り付けました。このボタンを置くことで、スーパーカーを押しやすく、また上手くミートしなくても反応するようになりました。ボタンの固定はラップを巻いています。もし、もっとよいビニールなどのカバーがありましたら教えていただきたいです。



ファースト君 ロンググローブ ポッチャリリーサー

—

【ファースト君】

ファースト付近に【ファースト君】を置き、ボールを当てたらアウトに出来るというルールを取り入れ、ベースボール型球技の守備の醍醐味を味わえるようにしました。生徒たちの興味関心をひきつけるために出来るだけ人間に近いサイズに近づけられるように大きく作りしました。

【ロンググローブ】

車椅子でティーボールに取り組んでいる生徒の守備の手助けとしてこの教材を作りました。体や車椅子で触れたらアウトを取れるというルールを設定していましたが、【ロンググローブ】を取り入れることで、本来の守備の方法に近いものになり、達成感を味わうことができると考え作りしました。【ロンググローブ】の先をつぶし、形を半円にすることで床との接地面を増やし、捕球しやすいように工夫しました。また、長さも変えられるように作りしました。

【ポッチャリリーサー】

この教材は頭に着けて、ランプに乗ったボールを棒の先で、押し出して転がすために使うものです。手が上手に使いなくても安定した投球ができ、ポッチャ競技を楽しむことができます。ホームセンターに売っている使いそうなものをかき集めて作りしました。頭に着けるものなので、安全を第一に考えて作りしました。また、重くならないように材料の材質などを工夫して作成しました。



とんとんすもうマシン

ミニ四駆のモーターの回転を利用して、手元のボタンを押すだけで、土俵をとんとん叩くことができるマシンを制作しました。

土俵を手で叩くことが難しい生徒もゲームに参加することができ、誰が倒れるかわからない白熱したゲームになりました。



音声スイッチ

A T相談で紹介していただいたキットを組み立てました。
MK-305B 用途はいろいろ。音量表示/オン時間設定/マイク/リレー付き音センサースイッチ (VOX) キット
最低オン時間は約 3 秒なので、約ゼロ秒にするには、プログラムを改造した「交換用マイコン IC」を買うか (送料込みで 920 円)

自分で PICKit3 でマイコンに 約ゼロ秒の hex ファイルを書き込む必要があります。

iPad タッチャーにつないで花火等のアプリで遊んだり、改造ミニ Bluetooth キーボードにつないで、アプリ

「Soundingboard」でスキャンで選択させたりすることができます。



手作り楽器 幻の缶クイーカ

クイーカは、ブラジルの楽器で、太鼓についた竹棒をこすって音を出す楽器です。言葉で説明すると難しいですが、本物のクイーカを初めてみた人は、あれれ、どうやって音を出すの？と、やっぱり混乱します。それはさておき、このクイーカ、空き缶とストローで簡単に作れてしまいます。

作り方は、百円均一などで、大きめの空き缶を購入します。後は、缶の上にテープでストローを貼り付けるだけです。たぶん、、、2分で完成するでしょう。「安い、早く作れる、音が良い」の三拍子、とってもおすすめの手作り楽器です。音の出し方は、こちらも簡単、手のひらに水をつけて、ストローをこするだけです。(ちなみに、よだれが手のひらについていると上手く音がでません。) 肝心の音ですが、動物の鳴き声？お腹の音？聞いたことのないような不思議な音が出るはずです。



相撲セット

お相撲さんに見立て段ボールを押して運んだり、倒したりしました。

車椅子に座って、押し運びしやすいように、子どもの身長に合った高さの段ボールを選んで作りました。

力の弱い子用には、車椅子テーブルに載せられる小さな段ボールを利用しました。



ステキなおうち

カラフルなおうちには、窓とドアがあり、ドアの横には「ピンポン」と音がるスイッチがあります。子どもたちはついつい押したくなるようです。

中に入ると、手で動かせる時計とホワイトボードが掛けてあり、遊べるようになっています。



ほうきゴルフマシーン

高等部 C スタディの体育でほうきをゴルフクラブに見立てて、ビーチボールを打ちながらフラフープのカップに入れるほうきゴルフを行いました。一人ではほうきを振ってボールが打てない生徒用にほうきゴルフマシーンを作ってみました。角材とコンパネを使って自立する枠を作り、枠にヒートンとリングを使ってゴルフクラブの絵をつけたほうきをぶら下げました。ほうきに目玉クリップを利用してひもを付けて、ひもには握りやすいようにスポンジでできているグリップを付けてあります。クリップを握り手前に引いて手を放すと振り子の要領でボールを打つことができます。ほうきの重みだけではボールがあまり転がらないため、ほうきの柄にホームセンターで購入したリング状の重りを付けて、ほうきが動くスピードを高めてボールがある程度遠くへ転がるように工夫しました。



泡アート

泡アート（感触あそび）の紹介をします。

<用意する物>

- ・牛乳石けん（固形石けんならなんでも良いと思いますが、牛乳石けんがうまくいきました）
- ・絵の具
- ・ボンド
- ・画用紙

<遊び方>

- ・石けんを生クリームのように泡立て、ボンドを入れてさらにかき混ぜます。
- ・絵の具を入れて着色します。
- ・ふわふわの感触を味わいながら、思い思いに画用紙に泡を落したり塗りたくったりします。
- ・乾かすと少しふわふわした形が残ったまま固まります。
- ・何度も重ねて絵を描くことができます。

泡を揉み込むように遊んだりぐるぐるかき混ぜたりと、積極的に活動する様子が見られました。

見た目・香り・感触など、生徒たちの興味を引くものばかりでとても盛り上がった授業でした。



もちつき3点セット

「もちつき三点セット」は、うす、きね、もちの三点です。「きね」は“動かそう”という気持ちをもてるよう動かすと音が鳴るビーズを入れ、伸びる“もち”に見立てた布が先端につけてあります。「もち」は、もちに見立てた白い布について洗濯ばさみを外すと、中から小さなもちが出てくるしかけになっています。





へんがおボード

「へんがおボード」は、顔の表情が変わるボードです。劇の中で使用するため、児童の得意な動き、好きな動きに合うよう、4種類作成しました。“たぐり寄せる” “ひじや手で押す” “つまんでひっぱる” “つまんで開く” の動作でページが変わり、表情が変わります。

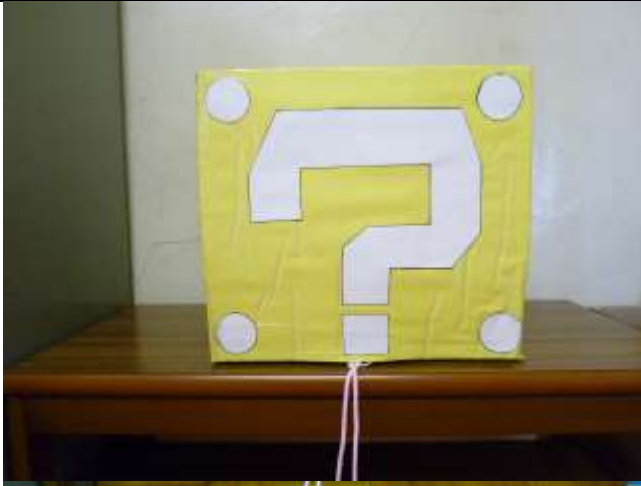


鬼倒しの鬼

みんなの時間に使用した、鬼倒しの鬼です。表情や色を変え、4種類作りしました。

押したり、ボールを投げたり、引っ張ったり、児童の得意な倒し方で倒します。引っ張って倒す児童用に、リングと洗濯ばさみで持ち手を作りました。

洗濯ばさみを鬼に取り付け、リングを握って引っ張ります。握りやすいように滑り止めマットを巻きました。鬼に触れたときの変化がわかりやすいように、鈴をつけて音が出るようにしました。鬼を強くしたいときは、足の裏に重し（ペットボトルに水を入れたもの）を入れて調整できます。



「はてなボックス」

箱の中に風船を入れておきます。持ち手部分が一連になっているので、みんなで協力してひっぱることができます。朝の会の出席調べ後に、「みんなでひっぱろう」と声をかけて箱を開ける活動をしました。中からたくさんの風船が出てくるので、興味をもって行うことができました。



「時間割ボード」

一時間目から六時間目までの時間割りを垂れ幕にして、ひもを引くと時間割りが現れます。垂れ幕とひもを独立させることにより、ひもを引くと垂れ幕が下がるようにしました。